

川岸学園設立準備委員会 PTA 代表者合同会議 報告書

日 時:令和8年2月27日(金)

午後6時30分～8時30分

1. 次 第

1. 開会
2. 各地区の活動報告および課題の共有
3. 新組織における PTA 役員・校外指導委員のあり方について
4. その他(役員免除規定、連合 PTA との調整等)
5. 閉会

2. 概 要

(1) 各地区の現状報告と課題

- ・多くの地区で、地区長など特定の役員に業務が集中しており、仕事や家庭との両立が極めて困難である実態が報告されました。
- ・コロナ禍の影響で過去数年間の資料や記録が残っておらず、年度初めの業務把握に多大な時間を要した地区が複数ありました。
- ・行事に協力的な保護者と、全く関与しない保護者の二極化が進んでおり、役員への「丸投げ」状態が課題となっています。
- ・PTA だけでは解決できない課題があるため、地区にも入っていただいたほうが良いとの意見が提案されました。

(2) PTA 新組織案および役員選出のあり方

▶「9 年間で 1 回制」の導入

- ・保護者の負担軽減を目的として、義務教育 9 年間を通して役員を 1 回務めることをベースとする方向で検討が進められています。

▶輪番制の見直し

- ・強制的な輪番制(持ち回り)を廃止し、主体性のある人が関わりやすい仕組み(立候補や公募の優先など)への転換が提案されました。

▶組織の多様性への配慮

- ・ひとり親家庭や共働き家庭の増加、ジェンダー問題を考慮し、役員の呼称変更(厚生委員等)や、男女の区別をなくした組織運営を行うことが確認されました。

(3) 校外指導委員と地区運営の連携

- ・現状、地区長が校外指導委員を兼務しているケースが多いですが、負担軽減のため、地区運営を担う「地区長」と「校外指導委員」を分けるべきとの意見が多数出されました。
- ・校外指導委員を各地区から出すか、各クラスから選出するかについては、通学

路の安全確保の実効性の観点から継続して議論が必要です。

(4)児童・生徒の安全確保と行事運営

- ・校舎改築や道路工事に伴う通学路の変更、集団登校や登校班の編成が急務の課題として挙げられました。
- ・保護者の負担を減らすため、地区行事の精査や、中学生が主体となって運営する形式への転換が検討されています。

3. 今後の検討事項

- ・統合前の旧学校での役員経験を新組織でどのように扱うか(リセットの有無等)、規約の整備
- ・市や郡の連合 PTA 役員の兼務負担を減らすため、組織会則の改正に向けた協議

4. 次回の日程について

令和8年3月23日(月)午後6時30分 開催予定